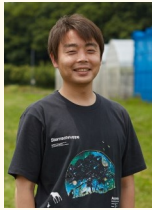


やさしい生態学講座 全6講座

1 2/19(水) 「農業と生物多様性の混み入った関係」を解きほぐす

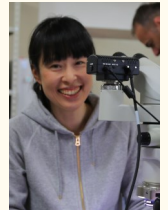
ふかの ゆうや
深野 祐也 千葉大学大学院 園芸学研究科 准教授



農業は生物多様性を毀損する最大の産業であると同時に、多様な生物を維持する産業でもあります。また農業は生物多様性から恩恵を受けています。この複雑な関係を整理して、より良い未来を考えましょう。

2 2/20(木) ハダニの世界をのぞいてみよう: ハダニの生存・繁殖戦略から学べることもある?

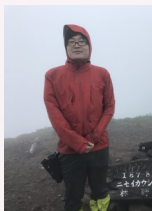
さとう ゆきえ 筑波大学
佐藤 幸恵 生命環境系 山岳科学センター



ハダニ類は、その一部が農業害虫であるため嫌われることが多いものの、多くはただの植食者であり、その辺の葉をめくるとすぐに見つかるような身近な存在です。本講座では、そんなハダニ類の面白くもかしこい多様な生き様について紹介します。

3 2/21(金) ミクロなきのこの多様性を探る

とちはら ゆきと
栃原 行人 千葉県立中央博物館



落ち葉や小枝をよく見ると、1ミリに満たないきのこ(子囊菌類)がついていることがあります。講座では子囊菌類の見つけ方や膨大な多様性について、研究の成果も交えながら紹介します。

4 2/22(土) うんこ虫を追ってみた!

たての ひろし
館野 鴻 絵本作家・生物画家



野良のうんこには様々な虫が集まります。そこにやってくるオオセンチコガネはそこそこ名の知れた虫ですが卵から成虫になるまでの暮らしは知られていませんでした。その暮らしを追ってみると・・・とにかく面白かった! うんこまみれの生態探索をお話します。

5 2/23(日) STOPサギ・カモ被害! 私たちはだまされない

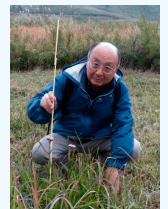
ましこ みゆき 国立研究開発法人
益子 美由希 農業・食品産業技術総合研究機構



「市街地の林にサギが大量発生!」「カモの大群が農作物を食い荒らす!」そうしたフレーズで時に害鳥とされますが、サギ類もカモ類も、もともと人里近くに生きる身近な鳥です。その暮らしを学び、だまされない対策ポイントを考えます。

6 2/24(月・祝) 日本らしい草原を取り戻そう

くさはら
根本 正之 東京農業大学 地域環境科学部 元教授



多くの在来野草が共存するススキやチガヤなどの日本らしい草原は大規模な攪乱や外来植物の侵入によってほとんど失われました。隅田川堤防、富士朝霧草原、伊豆大室山を事例に在来野草の復元について講義します。

日時: 令和7年2月19日(水)~24日(月・祝) 各日13:30~15:00
会場: 国立科学博物館附属自然教育園 講義室
対象: 一般・大学生
定員: 各講座 30名
参加費: 無料(入園料は必要)
申込み: WEBにて受付(先着順、定員になり次第締切)
令和7年1月19日(日) 10:00より受付開始



● 自然教育園ホームページのイベント欄より、注意事項をご確認のうえ、お申込みください
● 都合により中止になる場合があります

国立科学博物館附属自然教育園
東京都港区白金台5-21-5
TEL.03-3441-7176

